

長周期地震動対策に関する公開研究集会

主催：日本建築学会 構造委員会 高機能社会耐震工学 WG

日時：2009年3月9日（月）13:00～15:00

場所：建築会館 302+303 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

プログラム：

司会 福和伸夫（名古屋大学）

13:00～13:05 主旨説明 中島正愛（京都大学防災研究所）

13:05～13:25 震源モデルに起因するばらつきを考慮した
予測長周期地震動の高精度化 吉村智昭（大成建設）

13:25～13:50 長周期地震動に対し建物が保有すべき各種性能項目の明確化
及びその基準策定に向けた調査 木村雄一（大成建設）

13:50～14:15 長周期地震動の被災に伴い起こりうる事態の明確化
瀬谷 均（竹中工務店）

14:15～14:40 既存建築物の長周期地震動による
損傷把握手法についての検討 嶺脇重雄（竹中工務店）

14:40～14:55 質疑・討論

14:55～15:00 まとめ 北村春幸（東京理科大学）

定員：70名（会場先着順）

参加費：無料